

# ロボット介護機器・福祉用具活用支援モデル事業（平成28・29年度）

## 介護現場の現状と課題

- 介護現場では腰痛問題が深刻化しており、介護負担の軽減が喫緊の課題
- 慢性的な人手不足等により、利用者への支援が画一的になりがちとの指摘

ロボット介護機器・福祉用具活用の検討



## ロボット介護機器・福祉用具を活用する上での課題

- 福祉用具等を導入していても使用方法が不適切であれば、十分な効果が発揮されない。
- 導入や利用に係る費用が高いほか、ロボット介護機器については、操作が複雑、装着に時間がかかるなどの課題が指摘されている。

介護の身体的負担の軽減、介護の質の向上や高齢者の自立支援を図るため、ロボット介護機器・福祉用具の適切な使用方法や効果的な導入方法の検証・普及が必要

## 事業の概要

### （H28・H29）ロボット介護機器・福祉用具導入支援事業

#### ①目的

アドバイザーが、専門的な視点から、福祉用具等のコンサルティングや効果的なロボット介護機器・福祉用具の使用方法を検証し、適切な使い方を都内施設に広めていく契機とする。

#### ②内容

- アドバイザーがモデル施設の実情を踏まえ、目的に見合ったロボット介護機器・福祉用具の選定や、既存の福祉用具等を含めた適切な使い方のコンサルティングを実施
- 定期的なモニタリングにより導入効果を測定し、効果的な使い方を検証

### H28 実施状況

モデル施設2施設において以下の機器を導入し、効果検証を開始

砧ホーム（特別養護老人ホーム）	ユニット菜の花（介護老人保健施設）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移乗支援用機器</li> <li>・見守り用機器2種類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モジュール式車いす</li> <li>・移乗支援用機器</li> <li>・見守り用機器</li> <li>・コミュニケーション用ロボット</li> </ul>

### （H29）アドバイザーによる国関連事業フォロー

#### ①目的

国関連事業で機器を導入した事業所をフォローするとともに、幅広い普及啓発に向けた導入事例の収集を行う。

#### ②内容

国関連事業で機器を導入した施設に対してアドバイザーが訪問し助言

#### ③対象施設

- 地域医療介護総合確保基金事業で機器を導入する施設 5施設  
※機器導入経費の補助を実施（平成29年度新規）
- 国の「介護ロボット導入支援特別事業」で機器を導入した施設 10施設

### （H29）ロボット介護機器・福祉用具普及報告会等

#### ①目的

ロボット介護機器・福祉用具に関する情報や効果的な導入例を広く周知する。

#### ②内容

- モデル事業の成果をまとめた報告書及び普及啓発用パンフレットの作成
- モデル事業実施施設の公開見学会を実施（開催回数 4回）
- 有識者等による講演やモデル事業実施施設から事業の成果報告等の実施（開催回数 1回）

成果を踏まえた普及啓発

## 事業の効果

ロボット介護機器・福祉用具の適切な使用

介護の身体的負担を軽減  
介護の質の向上、高齢者の自立支援を促進

介護職員の離職率低下、人手不足の解消  
QOLの向上や介護予防の実現